

バッテリー電圧検出端子付

RX-462

Telemetry System



取扱説明書

このたびは、RX-462 をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。

本製品の性能を十分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。



注意

安全に使用していただくための注意事項

- 本製品は SANWA MT-4 専用です。その他の AM/FM/2.4GHz プロポには使用できません。
- SHR、SSR モードではアナログサーボは動作しませんのでご注意ください。誤って SHR/SSR モードでアナログサーボを使用すると、正常に動作せずサーボが壊れますので、絶対に SHR/SSR モードでアナログサーボを使用しないでください。デジタルサーボ (Digital ERG シリーズ) や SV-08、HV-10、HV-12 の場合は NOR/SHR モードで動作します。SHR/SSR モードでは BL-RACER、BL-FORCE、F2000、F2200、F3000、F3300、SBL-01/02/03CR では動作しません。必ず NOR モードでご使用ください。
- SRG サーボや HV-12 STOCK SPECIAL は NOR/SHR/SSR のすべてのモードで動作します。
- 2.4GHz 帯はラジオコントロール専用の周波数帯ではありません。この周波数帯は ISM (産業、科学、医療) バンドと共有されているので、都市部では電子レンジ、無線 LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話の Bluetooth、VICS などの近距離通信の影響を受ける可能性があります。また、アマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響に注意して使用してください。なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は速やかに電波の発射を停止し、干渉回避対策をおこなってください。
- 建物や鉄塔の後ろを走行 (航) させたときのように電波の到達方向を遮へいすると操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。常に目視で確認できる範囲で走行 (航) してください。
- 日本国内では技術適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールが使用できます。技術適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で、技術適合証明ラベルが貼られていない送信機やモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- (財) 日本ラジコン電波安全協会では、ラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称の入った技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールの使用を推奨します。



※技術適合証明ラベル (例)

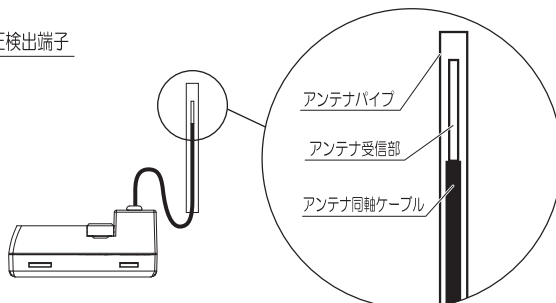
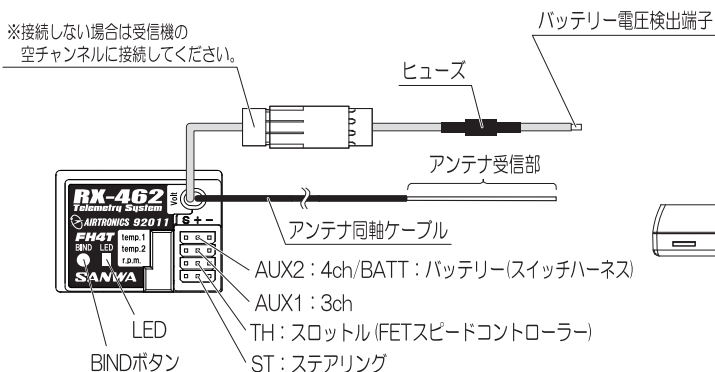
2.4GHz

RX-462 について

- RX-462 は MT-4 専用の NOR/SHR/SSR モードに対応した受信機です。SSR モードと SRG サーボを使用することで SHR よりさらにレスポンスアップします。SSR モードに設定されている状態では SRG サーボ、HV-12 STOCK SPECIAL 以外は動作しません。(SRG サーボ、HV-12 STOCK SPECIAL は SSR/SHR/NOR モードに対応しています。)
- Digital ERG シリーズ、SV-08、HV-10、HV-12 は NOR/SHR モードで使用してください。
- ※SHR と SSR のモードを切替えた際に、EPA の設定が変わる場合がありますので、再度 EPA の設定をおこなってください。
- MT-4 のテレメトリ機能により、温度や回転数、電動 RC カーに使用する動力用バッテリーの電圧をリアルタイムに確認したりアラームを鳴らすことができます。
- ※スピードコントローラーによっては走行用バッテリーの電圧が正しく測定できない場合があります。

2.4GHz

各部の名称とアンテナの取扱いについて



受信機LEDの状態

電波を受信している状態	青点灯
電波を受信できない状態	—
BIND (バインド) 設定中	青点滅、 青高速点滅
フェールセーフ作動	—
フェールセーフ作動後に電波を受信できない状態	—
回転センサーがONの状態	緑点灯

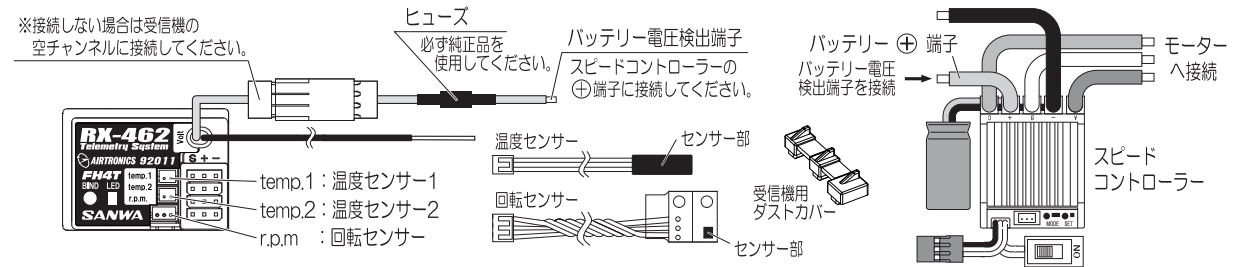
- 受信機とアンテナが搭載される場所により、受信距離が異なります。
- 右図のようにアンテナ受信部 (先端から 3cm) を保護するために、必ずアンテナパイプにアンテナを入れて、アンテナ受信部がアンテナパイプの外部に出ないようにしてください。
- アンテナ受信部は絶対に折り曲げないでください。また、アンテナ同軸ケーブルを無理に折り曲げないでください。
- アンテナ同軸ケーブルを無理に引っ張らないでください。受信機内部の破損の原因となります。

BIND(バインド)とは: MT-4 送信機はそれぞれ固有のID(固体識別)番号をもって、そのID番号を受信機に記憶させることです。BIND 設定した MT-4 と受信機のセットでしか動作しないようになります。

- ①MT-4 の電源を ON にしてマルチセレクターで SYSTEM から BIND を選択し [RF MODE] の TYPE が《FH4T》に設定されていることを確認します。
 - ②MT-4 のマルチセレクターで BIND 表示の下の [ENTER] にカーソルを移動します。
 - ③RX-462 の BIND ボタンを押しながら、受信機側の電源スイッチを ON にします。
 - ④RX-462 の LED がゆっくりとした点滅になるのを確認したら、受信機の BIND ボタンを離します。
 - ⑤RX-462 の LED がゆっくりとした点滅になる前に BIND ボタンを離した場合、BIND モードに入らない場合があります。再度③の作業からやりなおしてください。
 - ⑥RX-462 の LED がゆっくりとした点滅の時に MT-4 のマルチセレクターをエンター操作すると送信機が BIND(バインド)動作になります。
 - ⑦RX-462 の LED の点滅が高速点滅になり、その後 LED が消灯します。LED が消灯したら、マルチセレクターをエンター操作して、送信機の BIND 動作を終了させてください。BIND が正しくおこなわれていると受信機の LED が点灯します。受信機の LED が点灯したらサーボ等を動作させて BIND が終了したことを確認してください。
- ※BIND 設定が完了していない場合は②の作業からやり直してください。

注意

- 出荷時には BIND 設定されていませんので、ご使用になる前に必ず BIND 設定をおこなってください。
- 必ず BIND 設定した送信機と受信機のセットでお使いください。



- 受信機にセンサーを接続する際に受信機上部のコネクターカバーをはずして、温度センサーと回転センサーを接続してください。
- センサーを接続しないコネクターには、受信機用ダストカバーをカットして使用してください。

バッテリー電圧検出端子について

- バッテリー電圧検出端子は使用するスピードコントローラーの ⊕ 端子に確実に接続し、走行中に検出端子が暴れないよう固定してください。
- バッテリー電圧検出端子をバッテリー ⊕ 端子に接続しない場合は受信機用の空チャンネルに接続してください。空チャンネルに接続しないと動力用バッテリーの電圧が正しく検出できずアラームが鳴り続けます。
- 走行後はスピードコントローラーの電源スイッチを OFF するだけでなく、必ず動力用バッテリーをはずしてください。
- 使用する受信機に接続されたスピードコントローラーの動力用バッテリー電圧のみ測定することができます。
- バッテリー電圧検出端子はヒューズが付いた状態で使用してください。
- バッテリー電圧検出端子で測定した電圧でバッテリーフェールセーフが働きます。負荷によって電圧が瞬間的に低下してバッテリーフェールセーフが働く場合があります。使用する状況にあわせてバッテリーフェールセーフの電圧を設定してください。
- バッテリーフェールセーフが動作するとスロットルチャンネルがあらかじめフェールセーフで設定された位置に移動します。フェールセーフの設定を誤ると暴走の危険がありますので、これらの機能を使用される際は正しく設定されているか走行前に必ず動作確認してください。
- バッテリーフェールセーフ、フェールセーフの設定は MT-4 の取扱説明書をご覧ください。



注意

安全に使用する際の注意事項

- RC カーに搭載したときにアンテナ受信部になるべく高い位置になるように接地してください。
 - アンテナ受信部、アンテナ同軸ケーブルは切断したり束ねたりしないでください。
 - 受信機のアンテナはモーター、FET スピードコントローラー(配線も含む)から離して、垂直に立ててください。
 - 走行中の振動でコネクターが抜けると暴走の危険があります。受信機、サーボ、スイッチ等のコネクターは確実に接続してください。
 - 受信機は振動、衝撃、水に弱いので、防振/防水対策を確実におこなってください。対策を怠ると暴走の危険があります。
 - RC カーに搭載している金属パーツ同士が接触すると、ノイズが発生し受信機性能に悪影響をおよぼし暴走の危険があります。
 - 電動 RC カーのモーター(ブラシレスモーター以外)には必ずノイズキラーコンデンサーを取り付けてください。ノイズキラーコンデンサーを取り付けないとノイズが発生して機器が正常に動作しない場合があります。
 - サーボには必ず付属のアフターパーゴムを使用してください。振動がサーボに直接伝わり、サーボトラブルが発生し暴走の危険があります。
 - MT-4 送信機と複数の受信機(RX-462/RX-461)を同時に使用しないでください。受信機からのテレメトリーデータを MT-4 送信機が受信できなくなります。
 - 送信機、受信機、サーボ、FET スピードコントローラー、受信機バッテリー等のプロポパーツは SANWA 純正品をご使用ください。
- ※SANWA 純正部品以外の組み合わせにより発生した損害などにつきましては、当社では責任を負いません。

調子が悪いときはまずチェックを！
修理に出される場合は、故障状況を詳しくご記入の上、本社サービスへ修理依頼してください。
また、ご購入、お問い合わせがありましたら、お近くの本社サービス/東京営業所に受付けております。
電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝日を除く AM9:30~12:00、PM1:00~5:00 です。

修理依頼カード

このカードに故障状況を詳しくご記入のうえ、必ず製品と一緒に送ってください。

フリガナ
お名前 _____

〒 _____

ご住所 _____

故障状況 _____

電話 () _____



SANWA

三和電子機器株式会社

本社 東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 電話 072(964)2531

東京営業所/東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル)

〒111-0053 電話 03(3862)8857

本社サービス 東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 電話 072(962)2180

- 予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- 2011年7月 第1版